

自動車管理(計画・変更計画書・報告)書

令和 5年 7月 31日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所 滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号

氏名 栗東市
栗東市長 竹村 健

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第44条第3項において準用する同条例第25条第3項・
第46条第1項・第46条第2項において読み替えて準用
第45条第1項
第46条第2項において準用する同条例第45条第1項

第44条第3項において読み替えて準用する同条例第25条第4項
する同条例第44条第3項において読み替えて準用する同条例第25条第4項 の規定に基づき、自動車管理計画を策
自動車管理報告書を

定(変更)] しましたので、提出します。
作成]

1 事業者に関する事項

事業者の氏名 (法人にあっては、名称 および代表者の氏名)	栗東市 栗東市長 竹村健		
事業者の住所 (法人にあっては、主たる 事務所の所在地)	滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号		
県内事業所数	54	事業所	
県内自動車使用台数	134	台	
自動車の使用に伴う 温室効果ガス排出 量	59.8	t-CO ₂	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和2	年度	終了年度	令和4	年度
報告対象年度	令和4					年度

3 計画(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本的な方針

環境汚染物質の発生防止という方針のもと、大気中のCO2及びNOXを削減するため、公用車買換えにあたっての低公害車等の導入、公用車の使用抑制並びに公共交通機関の利用を推奨する。

(1) 自転車や公共交通機関が利用可能な距離、時間帯の場合は、これらの手段を用い、公用車を使用する場合は次の基準による。

- a. 概ね3人以上で出張するとき。
- b. 大量の荷物の運搬を伴うとき。
- c. 公共交通機関を利用することに不具合が生じるとき。
(公共交通機関が整備されていない場所への出張)
(緊急時等で、公共交通機関を利用すると遅刻等の事態が予想されるとき)
- d. 天候等により公共交通機関等の運行体系に変更があったとき。
- e. その他、課等の長が特別な理由と認めたとき。

(2) 不要なアイドリングはしない。

(3) 空ぶかし、急発進、急加速はしない。

(4) 無駄な荷物を積まない。

(5) 適切な点検整備を行う。

(6) 経済的な速度で走行する。

(7) 公用車を導入する場合は、低公害車(電気自動車・天然ガス自動車・メタノール自動車・ハイブリッド自動車)を導入する。

【栗東市役所環境マネジメントシステム(環境レムズ)マニュアルより】

2 取組の推進体制

2つの体制を中心に取り組む。

市長 . . . 推進方針の制定及び改定を行

環境責任者(副市) . . . システムの確立、実施、維持等の統

環境副責任者(教育) . . . 環境責任者を補佐し、環境責任者が欠けたときにその職務を代理で行う。

環境推進責任者(各部) . . . 各部内のシステム推進状況等を掌握

各所属 . . . 各所属におけるシステムを推進・統括す

環境推進員 . . . 環境推進員が行うシステム運用に関する業務の補助を行

【栗東市環境マネジメントシステム(環境レムズ)マニュアルより】

市 . . . 安全運転管理者を選任する。

安全運転管理 . . . 公用車の管理に関すること等を行い、道路交通に関する法令を遵守して運転者に対し、安全運転に必要な指導を行う。

副安全運転管理 . . . 管理者の業務を補助し、管理者に事故があるときは、その職務を代理する。

運転者 . . . 公用車の運転に従事する市職員。

【栗東市公用車管理及び安全運転に関する規定より】

備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

3 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に関する取組の内容

項目	取組の内容	目標達成確認指標			実施結果
			現状	目標	
自動車使用の合理化	公共交通機関等の利用及び乗り合わせ等の促進	職員への周知	可能な限り実施	継続して実施	R4年度も継続して実施 経過観察中
より温室効果ガス排出量が少ない自動車の導入	公用車の入れ替え時に温室効果ガスの排出量の少ない軽自動車、ハイブリッド車等を導入	導入台数	軽自動車99台(電気自動車3台含む)、ハイブリッド車7台	リース契約の更新時に見直す	R4年度も継続して実施 経過観察中
次世代自動車等の保有比率を高める取組					
従業員に対する自動車使用に伴う温室効果ガス排出削減に関する教育	アイドリングストップの徹底、空ぶかし、急加速、急ブレーキの排除	職員への周知	可能な限り実施	継続して実施	R4年度も継続して実施 経過観察中
その他の取組	近隣へは公用自転車を活用	職員への周知	可能な限り実施	継続して実施	R4年度も継続して実施 経過観察中

備考 現状や目標については、必要に応じて、文章による記載でも構いません。